

# 中学校区の小中連携「三校交流ビブリオバトル」 ネットのライブ中継を利用し小学生が参加

千葉県 柏市立柏中学校

## 基本データ

所在地	柏市明原 4-1-1
児童生徒数	450 人
教職員数	42 人
蔵書数	16,650 冊
年間貸出冊数	4,243 冊

## テーマ・活動のねらい等

【テーマ】読書啓発・指導

【活動のねらい】

- 中学生は、自校の生徒だけでなく小学生にもわかりやすく伝えることを意識し、言葉を選びその本の魅力が伝わる表現でスピーチを考える。
- 図書委員会は開催に向けて事前準備に主体的に取り組み、小学生も楽しめるよう工夫する。
- 小学生は中学生の発表やその場の雰囲気を見ることにより、学習の成果や自身が中学校へ進学した際のイメージをつかみ、中学校入学への期待を高めると同時に不安の軽減をねらう。
- 小中の教職員間で活動を共有することで、小中の連携を図る。

## 取組・活動の概要

- 柏中では学期に一度の頻度で図書委員会主催の校内ビブリオバトルを行っている。



ビブリオバトルの様子

- 今回は中学生の取り組みを小学生にも公開し、質疑応答・投票に参加することで小中の交流を図った。対象者は、中学生全学年と小学5・6年生で、12月初旬に実施した。

【内容】

- 各学校の図書室及び対象学年の教室をネット回線でつなぎ、ライブ中継を行った。



ビブリオバトルライブ中継

## 取組・活動の工夫や特徴

- 各校の校長・教頭・教務主任・司書教諭が早い段階から連携し、開催に向けて日程調整を行った。
- 各校の図書館指導員が当日の内容詳細及び結果報告の方法について打ち合わせし連携した。
- ライブ中継や電子黒板等の ICT 機器の活用に、ICT 活用推進アドバイザーの協力を得てスムーズな中継を行うことができた。
- ICT を活用することで児童生徒は学校から移動せずに他校・他学年と交流することができ、効率的に活動できた。

## 取組・活動の成果や今後の展望

- 小中学生ともに投票用紙に感想記入部分を設け、終了後回収した。
- 小学生からは「自分も中学生のように話せるようになりたい、わかりやすかった、伝え方の工夫をしたい」などの感想があり中学生のよい刺激になった。また、中学生は全員が楽しむためにはどうすればよいか配慮や対応を考える良い機会になった。
- 各校の指導員の連携、学校内の教職員との連携が進んだ。ビブリオバトルだけでなく、学校図書館の利活用につながっていくと思われる。
- 今後も継続していきたい。